

【11 月度定例会】 2017 年 11 月 11 日(土)

理事	高野(高野デザインプロデュース)		秋葉(秋葉建設)		
会員	久保田	近藤(近藤商事)	初芝	藤田(藤田建築)	立川
	竹中(竹中修建築設計室)	川砂(do.建築工房)	初芝(真)	城	阪本(アヴィスト)
	秋葉(拓)	佐々木(佐々木建設)	石橋(石橋材木店)		都澤
オブザーバー	村山様				

参加者 12 名

定例会 13:30~16:30

■ はじめの言葉

当初古民家フォーラムの予定でしたが、規模を縮小しての開催とします(秋葉)

■ 会員近況報告

●オブザーバー村山様より

古民家の施設や民泊などがトレンドになっていることもあり、興味を持って参加しました。

■ 『古民家入門 ～古民家をもっと楽しもう～』 秋葉



1、歴史と人の暮らしへの興味

- ・ 日本列島の成り立ち
- ・ 文化の流入
- ・ 人の流れと交流

2、街歩き・街道歩き

- ・ 伝統建造物群保存地区
→ 富山県五箇山/山梨県早川町/山梨県甲州市塩山/茨城県桜川市真壁町
- ・ 江戸時代の旧街道の街並み
→ 旧中山道/妻籠宿(ツマゴジユク)
- ・ 民家園見学
→ 川崎市立日本民家園/福島市民家園(東北民家)/大阪日本民家集落博物館

3、癒しの空間に滞在する

- ・ 古民家カフェとレストラン、宿泊施設

4、古民家を生かしていく活動

- ・ これ以上の喪失を食い止めるためには? 課題は?

出典 : 川島宙次「滅びゆく民家」2冊 / 吉田桂二「街並み家並み辞典」

家作りの文化形成から、おススメの古民家地域や café、そして今抱えている古民家を取り巻く課題など幅広い視点で古民家についてご紹介頂きました。

■ 『茅葺古民家訪問記』：城



- 1、茅葺古民家を撮る切っ掛け
- 2、各地の茅葺古民家のリストなど
- 3、茅葺の分類と思索
 - ・ かやぶきの里
 - ・ 茅の種類、分類について
 - ・ 神社、仏閣
 - ・ 商いの施設
 - ・ 各地の茅葺…特徴と仕様
 - ・ 特殊な茅葺
 - ・ 平家伝説と茅葺…四国、九州、湯沢西
 - ・ 機能としての茅葺、造形美としての茅葺

維持管理が難しくなりつつある茅葺。

実際に地域や住んでいる方との交流を通じて、かやぶきの魅力を記録されていました。是非書籍化に向けて協会でも協力できればと思います。

■ 『DIY イベントを通じて家の魅力を伝える方法』 都澤

- 1、イベントは手段であると位置づける。
 - ・ 目的は自分（自社）のブランドを周知させること
 - ・ 自分のファンになってもらう、信頼関係を築く、顧客化、口コミ効果
 - ・ イベントによるブランディングは継続性と発信によって効果が出てくる
- 2、参加者とのハードルを低くする
 - ・ 紙芝居方式の資料
 - ・ 自分は何者であり今までのスキルを以って、貴女に何が提案できるか？を伝える
 - ・ 分かり易い言葉を使う
 - ・ 狭い業界ほど、他者からは面白いと感じてもらえるようです
- 3、事例を紹介する
 - ・ 身近な例から驚くような事例まで幅広く紹介
- 4、体感してもらう
 - ・ “自分でもできる” という体験であること
 - ・ 完成させることや見本通りに仕上げるのが目的ではなく、経験によって家やDIYへ興味を持ってもらうことができる内容とする。
- 5、まとめる
 - ・ “家” とはなんだろう？という想いを共有する。

■ 『古民家改修座談会』 佐々木さん

- 1、改修・活用事例 ～大学教授大滝さんの南総学舎～
 - ・古民家改修後、リーダー研修や留学生を招いての学習などを開催
 - ・グローバルな施設とするためバリアフリーに
 - ・イベント開催…オープニングセレモニー/そば打ち/味噌作り/鍋パーティ
- 2、古民家改修の現場から見えてくること
 - ・古民家改修に関して、改修費以上の利益を建物に求めるは難しい
 - ・居住の為の古民家改修はハードルが高い（費用面でも継承面でも）
 - ・過疎化など「古民家の後継者がいないのに回収しても仕方がない…」という問題
 - ・古民家ブームでサスティナブルな意識は高まっている、特に都心からの移住者
 - ・定住用ではなく、週末のみの使用や研修施設など位置付けであれば、他生の際間風や使い勝手の悪さが逆に“古民家ならではの体験”と好ポイントになるのが面白い。
 - ・南房総には大きな病院もあり外部や海外から来られる人も多いので、ターゲットによってはビジネスチャンスがあるかもしれない。
 - ・二拠点生活の方への提案
 - ・田舎ならではの“地域の目”も課題の一つ…代々受け継いだ古民家という責任

■ 『古民家改修座談会』 近藤さん

- 1、13年ほど前の古民家改修工事を切っ掛けに今につながる
 - ・地産地消にも力を入れる、例えば大多喜の弓木石を使うなど・
 - ・古民家を知らない人が、改修工事することでのデメリットも多い

次回

- ・日時：平成29年12月9日(土)
- ・千葉県青少年女性会館にて
- ・その後忘年会